

所 属 田後漁業協同組合  
氏 名 わかもと ふみはる  
若 本 文 治 (54 歳)  
船 名 だいににっこうまる 85 トン  
漁業種類 沖合底びき網



#### ～田後の町を愛す穏やかな沖底船長～

母方が沖底船の船主の家系であった若本さんは、船員として乗った船を一度降り、3年ほど陸の仕事をしていた。その後、1年間の約束で船に戻ると、なぜだか今でも乗り続けることとなった。

34歳で船長となってから20年。船の安全と漁獲は自分の腕次第なので、船や船員に重い責任を感じる。漁場は年々、日々変化するもので、自分の経験や仲間の船との情報交換から、魚価も勘案した上で最良と考える場所を選択する。沖底船の操業は毎年9月に始まり、翌年の5月まで続く長丁場だ。漁期初めは猛暑の中で、中盤以降は荒天下の操業となり相当きついが、頭も体もフル稼働でやり遂げ、「大変だけど慣れたね」と事も無げである。それに自分の読みが当たり、獲物がたっぷり入った時はやはり嬉しい。

若本さんは7年前に新船を建造し船主となった。周囲からは「跡継ぎが居ないのになぜ」とも言われたが、若い人に繋げる思いで船を造った。田後の町から船が減っていくのは寂しい、いつまでも田後に船が残っていてほしいと、切に願う。やはり沖底船も残していかないと。

#### ～休漁時は自分の時間を楽しむスポーツマン～

自由形で国体出場経験があるぐらい泳ぎが達者な若本さん。そんなスポーツマンな一面もお持ちであるが、休漁期にはお二人の娘さんと金比羅山へ登ったり、仲間とお酒を飲んだり、ゆっくり出来ることを楽しんでいらっしやるそうです。

(文責：田中 秀一)